

国際保健医療協力の

現場で見えるもの

「緊急援助 vs 開発援助、
病院援助 vs コミュニティ協力」



30年間のNPO・ODAにおける
国際保健医療協力の現場経験の中
で、見たこと、感じたこと

国際保健医療協力の難しさ、楽しさ

現在の国際保健の潮流と今後に向
けた方向性

秋学期 国際協力セミナー

なか さ たもつ

仲佐保さん

国立国際医療研究センター
国際医療協力局国際派遣センター長



2014年

12/18

14:40~16:10 (第4限)

関西大学 千里山キャンパス (阪急千里線 関大前駅下車)

第3学舎 A204 教室

【裏面の会場案内図をご確認ください】

【プロフィール】

1980年広島大学医学部卒

1995年ジョーンズホプキンス公衆衛生大学校公衆衛生修士
現職は、国立国際医療研究センター 国際派遣センター長

大学卒業後より国際医療協力に興味を持ち、人道援助分野では、カンボジア難民医療、エチオピア飢餓被災民援助、ソロモン群島ハリケーン災害、ニカラグア津波災害に参加。

その他、保健医療協力として、ボリビア病院協力、パキスタン母子保健プロジェクト、ホンジュラスリプロダクティブヘルスプロジェクトの長期専門家およびチーフアドバイザーとして派遣。保健医療プロジェクトの評価調査や無償資金協力調査の技術参与として、カンボジア、ラオス、ベトナム、ザンビア、パキスタン、スリランカなどにも参加。

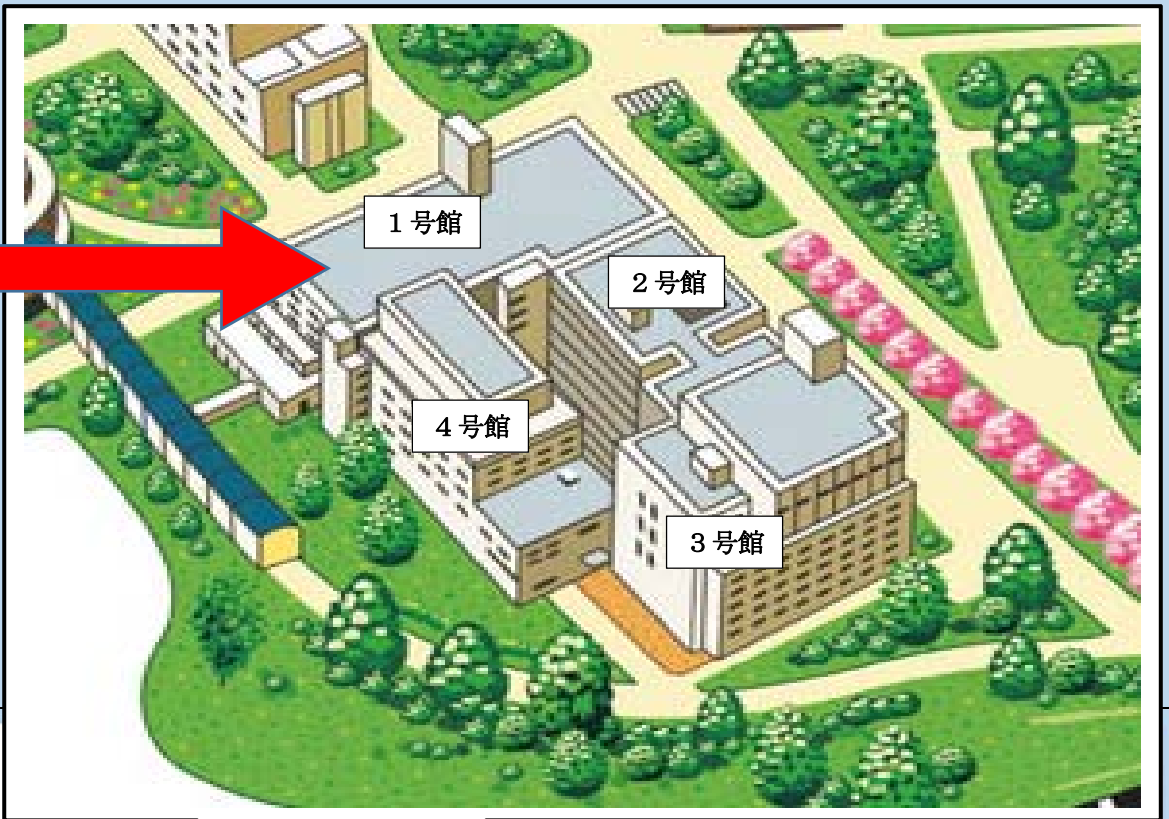
どなたでも聴講していただけます

問い合わせ先：関西大学国際部 国際研究・協力グループ

kansai-u1886@ml.kandai.jp

関西大学 国際部

2階
セミナー会場



第3学舎 1号館2階 A204教室

- 関大前駅 北口下車 ⇒ 関大前通りを東 ⇒ 正門前を右 ⇒ 右手に学舎入口
- 関大前駅 南口下車 ⇒ 南門からエスカレータ ⇒ 関大会館前 ⇒ 4号館入口から第3学舎へ